

編集後記

まず、東日本大震災および福島第一原発事故により避難生活を余儀なくされている方々に心よりお慰め申し上げます。また、復興に尽力されている方々に敬意を表します。昨年春の福島原発事故により一時的に日本国内の原発が全停止しました。再稼働も徐々に進むことと考えますが、この夏も各地で節電に対する取り組みをせざるを得ない状況となっております。幸いにして7月の札幌はそれほど暑い日も数日のみとなっております。計画停電等をする状態にはなりません。核医学学術総会が行われます10月上旬の札幌はすでに夏の暑さも納まり、涼しく山々では紅葉も始まり過ごしやすい日々となっていることと思います。

今回のテーマは「核医学の新たな挑戦—個別化医療の推進をめざして—」で開催場所はロイトン札幌およびニトリ文化ホールとなります。

札幌では今から18年前故古館先生の時に総会が開催され大変盛況でした。医師になったばかりの私も参加し核医学診断・治療の最新の動向にふれ、とて

も楽しかったことを覚えております。今年の演題の応募は順調で核医学技術学会と合わせ650題の申し込みがありました。

今年は10題の海外招演と特別講演を1題予定しております。C-11 PIBを開発したMathis先生をはじめ米国・欧州から著明な先生方をおよびしております。また、樋口先生をはじめとした海外で活躍されている日本人の先生方3名にもご講演いただく予定です。特別講演としてはノーベル化学賞をとられた鈴木章先生に「ノーベル化学賞を受賞して」というテーマで講演をいただくこととなっております。

市民公開講座では「知っておくべき放射線の基礎」というテーマで北大の梅垣菊男先生と京都医療大学の野和子先生に講演いただくこととなっております。市民の方々に放射線に関する基礎知識を学んでいただければと思っております。

最後に今回の学会の開催にあたりご協力いただいた諸先生方、座長、司会を快諾していただいた先生方、様々な形でご協力をいただいた各企業の皆様方に御礼申し上げます。学会場で皆様方にお会いできますことを楽しみにしております。

(第52回学術総会 実行委員長 志賀 哲)

核医学編集委員会

委員長：	絹谷清剛	(金沢大学医薬保健研究域医学系核医学)
副委員長：	佐賀恒夫	(放射線医学総合研究所 分子病態イメージング研究プログラム)
委員：	犬伏正幸	(放射線医学総合研究所 分子病態イメージング研究プログラム)
	金田朋洋	(東北大学病院 放射線診断科)
	河邊讓治	(大阪市立大学大学院医学研究科 核医学科)
	河村和紀	(放射線医学総合研究所 分子認識研究グループ)
	久慈一英	(埼玉医科大学国際医療センター 核医学科)
	坂本攝	(獨協医科大学病院 PETセンター)
	田代学	(東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター)
	東達也	(滋賀県立成人病センター研究所)
	百瀬満	(東京女子医科大学 画像診断・核医学科)
	渡部浩司	(大阪大学大学院医学系研究科 医薬分子イメージング学寄附講座)

「核医学」第49巻3号 平成24年8月31日 発行 本号定価 ¥1,800

編集兼発行者 絹谷清剛

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-45 (社)日本アイソトープ協会本館3階

発行所 一般社団法人日本核医学会

振替口座 00180-5-741770 番

電話東京 (03) 3947-0976 FAX (03) 3947-2535

E-mail : anm@xvg.biglobe.ne.jp

ホームページ : <http://www.jsnm.org/>

印刷所 株式会社海川企画

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-51-1

電話 (03) 3806-0961 (代) FAX (03) 3806-0848

広告申込所 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-12-8 電話 (03) 5226-2791 (代) 日本医学広告社